

私がピアノを始めたのは1年生の時です。それはテレビでピアノを弾いている人を見て、何であんなに速く指を動かしてきれいに演奏できるんだろう。自分もそうなりたい。と思ったからです。

先生はすごく怖くていつも行くのがイヤでした。間違えないようにといつも思っていました。

でも、先生はとてもピアノが上手で、おこられるのはイヤだけどその分、先生に近づいているような気がしてこれからも頑張ろうと思いました。

9月、先生が引っこしてしまい新しい先生になりました。

新しい先生は、前の先生と少しひいている感じがちがいました。私はその人の個性が出ているのだと思いました。

新しい先生で緊張してしまい、いつも失敗してしまいます。そんなとき、エジソンの伝記を読みました。エジソンは、『99回の失敗の後にようやく1回成功するのがふつうである』と言っていました。

エジソンの伝記は、今の私にとっても役に立ち、間違えてもあきらめずにできました。伝記を読んでから私はピアノの先生になり、ピアノと伝記に書いてあった失敗をおそれないことを伝えたいと思いました。

私は将来、いろいろな人に自分が学んだ失敗をおそれないこと、失敗をすることはあたり前のことだということを伝えたいです。

それとピアノを教えるために私はピアノの先生になりたいです。そのために私は、何でもおそれずに取り組み、また、失敗をしてもあきらめずに挑戦できるような人になりたいです。